

◎中国は米務省の「宗教の自由」報告書に強い不満

【C J C = 東京、9/29】中国政府は、米務省が9月19日発表した、各国の宗教の自由に関する2008年版報告書で、侵害が特に深刻な国として中国など8カ国を昨年が続いて指定したことに反発している。「中国は強い不満を持ち、断固、米国の非難に反対する」と外務省の姜瑜報道官は23日の声明で明らかにした。国営新華社通信が報じた。

米務省の報告書は、中国について、8月の北京五輪期間中、当局が政府非公認の「地下教会」を閉鎖させたり、数人の外国人活動家を「違法な宗教活動をした」などとして拘束、ビザを取り消したりしたと報じられていることを指摘した。またこの1年で、チベット自治区や新疆ウイグル自治区の弾圧が強まり、3月にチベット自治区で起きた大規模暴動をきっかけにチベット仏教最高指導者ダライ・ラマ十四世への批判が強化されていると指摘。寺院閉鎖、チベット仏教僧への愛国教育、追放などの弾圧にも言及した。キリスト教の伝道に対する干渉にも触れている。

◎ドイツでプロテスタント教会がユダヤ教礼拝堂に

【ユトレヒト（オランダ）=ENI・C J C、9/29】（アンドレアス・ハビンガ記）ドイツで初めて、プロテスタント教会がユダヤ教礼拝堂に衣替えした。

ドイツ北部ノルトライン＝ヴェストファーレン州ビーレフェルトで9月21日、「バイト・ティクワ」（希望の家）と言う名のユダヤ教礼拝堂の献堂が行われた。

ヴェストファーレン福音教会のアルフレッド・バス牧師は、新礼拝所がプロテスタント・キリスト者のための「希望の家」でもあると挨拶した。

ビーレフェルトのかつてのユダヤ教礼拝堂は、1938年11月9日、ナチがドイツ全土でユダヤ教礼拝堂などユダヤ人の住宅、店舗などを襲撃した「クリスタルナハト」と呼ばれた事件の際に破壊された。バス牧師は「悲しみと深い恥」をもってそれを想起した。

600万人ものユダヤ人が殺されたとされる「ホロコースト」の時に、ヴェストファーレン福音教会はそれに直面することをしなかった、としてバス牧師は、かつてのプロテスタント教会がユダヤ教礼拝堂に転換したことの意味がますます深まる、と言う。